

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●福祉総務課・市民協働推進課

施策番号(大-中-小)	711
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	市民参加と協働の推進
施策(小項目)	市民参加とコミュニティ形成
基本方針	協働の第一歩となるまちづくりへの市民参加を進めるため、その意識啓発や機会づくり、情報提供などを行います。また、社会貢献しようとする市民の自主的・自発的な活動を支援するため、その拠点として市民活動支援センターを有効活用していきます。また、身近な町内会・自治会などでのコミュニティ活動の促進により参加の輪を広げていきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民のライフスタイルや価値観が多様化する中、市民が主役のきめ細かなまちづくりの推進が多岐にわたる分野で求められています。また、市民がさまざまな活動を通して地域社会を取り巻く多くの課題に自主的に取り組んでいこうとする意識が高まっています。市民活動支援センターでは、まちづくりに参加している市民活動団体への支援を実施していますが、今後、多くの市民がまちづくりに参加できる仕組みを構築していく必要があります。 ● 地域福祉を推進する上で、孤立死の予防や高齢者の生活不安への対応などに、町内会・自治会のコミュニティ活動やNPO・ボランティアなどの市民活動の役割への期待が高まっています。 ● 地域ごとに町内会・自治会を中心とするコミュニティ組織が形成されており、環境美化や防災・防犯、青少年の健全育成など、さまざまな面で積極的な活動をしています。一方で、少子化や価値観の多様化により、加入者・参加者が減少する地域もあり、十分な活動ができないという問題も生じています。今後はより参加しやすい機会・条件の整備が必要です。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1	市民協働推進課	コミュニティ地区事業参加者総数(単年)			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	93%	平方地区の環境フェスティバルの雨天中止による参加者減
					単位	23,550	24,250	21,460	13,840	22,890	24,600		
2	福祉総務課	民生委員定数(単年)			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	平成25年度に定数を見直した。
					単位 人数	302	302	302	314	314	314		
3					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
4					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

今後の取組の方向性 (文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)	(福祉総務課) ・民生委員活動の更なる充実を図ります。 (市民協働推進課) ・多くの市民が集い、顔を合わせ、語り合う機会を設けるためのイベントを行うとともに、住民自治の礎となる自治会活動の後押しを、より進めていく必要があります。	★進ちよく状況	A 順調
--	---	---------	------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.06	41	1.26	18	0.8	8

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	635,927	712,285	697,990	737,604
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	159,215	177,631	142,404	237,336
合計(千円)	795,142	889,916	840,394	974,940

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●福祉総務課・高齢介護課・市民協働推進課・都市計画課

施策番号(大-中-小)	712
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	市民参加と協働の推進
施策(小項目)	協働
基本方針	市民・事業者・行政が共に連携し、協力し、補完し合いながら行動する協働の仕組みづくりに向けて、市民や市職員が理解を深めていくとともに、市民活動団体などの活動環境・体制の充実を促進し、さまざまな活動の実践を積み重ね、協働の分野を広げていきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化・情報化社会の進行に伴い、市民のニーズは多様化し、行政の均一的なサービスでは対応できない局面も出てきました。このような背景のもとで、NPOなどの団体や、事業者・大学と行政がさまざまな形で連携できる仕組みづくりが必要であり、協働によるまちづくりを積極的に推進していく必要があります。 ● 協働のまちづくりを担う活力ある市民活動団体の育成が求められています。そのため、活動拠点の整備充実や情報提供・人材育成など、市民の自主的な活動を支援する体制の整備が必要です。 ● 福祉や環境等、さまざまな分野で行政と市民活動団体などとの協働が始まっていますが、他分野においても協働での取り組みを進めていく必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	市民協働推進課 市民活動支援センター	市民活動支援センター登録団体数	登録団体数(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	94%	総合計画上の目標値は「50」だが上方修正で「160」とした。
					単位	団体	15	102	127	143	150		
2★	福祉総務課	ボランティアセンター登録グループ数	登録グループ数(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	65%	総合計画上の目標値は「42」だが上方修正で「65」とした。
					単位	団体	37	44	36	41	42		
3	福祉総務課	社会福祉基金活用事業承認数	毎年400万円上限として基金活用事業承認数。(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	77%	1事業30万円が上限。全体で400万円が上限。25年度は市広報への掲載時期を変えたため減。
					単位	件数	9	14	13	8	10		
4	都市計画課	活動中の街(まち)づくり協議会数	街(まち)づくり協議会数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	11%	協議会には認定のものとは非認定のものがある。
					単位	団体	4	5	4	4	3		
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

今後の取組の方向性 (文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)	(福祉総務課) ・社会福祉基金活用事業の要綱を改正し、事業全体を見直します。 ・平成26年度は生活困窮者自立支援法施行に伴う追加見直しを実施します。現行の地域福祉計画(見直し版)を推進しながら、平成27年度から第2次上尾市地域福祉計画(平成29~38年度)の策定を開始します。社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体化した計画を策定予定。(市民協働推進課) ・多くのNPO団体やボランティアグループが行政の手が行き届かない分野を支えています。これらの団体の活動が活性化することが上尾市の総合力を高めることに繋がることから、協働をより推し進めていきます。(都市計画課) ・街づくり協議会への運営支援として、街づくりに関する情報提供・街づくりアドバイザーの派遣等を積極的に実施します。	★進ちよく状況	B 概ね順調
--	---	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.04	45	1.12	29	0.92	17

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	2,317	8,259	6,656	5,664
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	76,466	58,703	65,325	13,190
合計(千円)	78,783	66,962	71,981	18,854

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●青少年課・高齢介護課・市民協働推進課・指導課

施策番号(大-中-小)	713
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	市民参加と協働の推進
施策(小項目)	交流
基本方針	地域への愛着や思いやりの心、地域文化の伝承など、さまざまな意義のある多世代間、地域間の交流を展開するとともに、異文化の理解や国際社会に貢献する人材育成にもつながる国際交流・国際教育、さらには多文化共生に向けた相談や講座・イベントなどの支援を進めていきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までが参加できるイベントが多く開催されています。また学校等で児童生徒と高齢者の交流が図られるなど、世代を超えた交流が進められています。 さまざまな地域の人々との交流が、特に青少年の育成に好影響を与えています。今後も継続的な交流が求められています。 本市では、平成26年4月1日現在で、2,418人の外国人市民が暮らしています。中国などの近隣諸国をはじめ、南米出身のニューカマーと呼ばれる人々も多く、国籍や民族等の異なる市民が互いの文化や習慣を理解し合い、ともに暮らしていくことができる社会が求められています。また、中学生を海外に派遣することで、国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。 市民活動団体に対する支援により、外国人市民のための「にほんご教室」を継続して行っています。また、あげおワールドフェアなどの多くのイベントで交流することにより、相互理解を深めています。 市民生活を送るうえで重要なニュースを、英語・中国語など4ヶ国語に訳し、市ホームページで配信しています。外国人市民による年金や税金・福祉等の生活上の相談が多岐にわたっており、今後はさらなる相談窓口の充実が求められています。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1 市民協働推進課	AGA会員数	会員数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	80%	
				単位	人	236	215	213	213	205		
2 市民協働推進課	「にほんご教室」参加人数	参加人数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	65%	施設の開館日数による影響有り
				単位	人	972	1,117	1,150	920	759		
3 指導課	学校応援団員数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	74%	ボランティアであり、任意登録のため、年によって人数の増減が生じる。
				単位	人	9,795	10,434	9,510	6,918	7,376		
4 指導課	学校応援団活動日数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	102%	学習支援、環境支援、安全支援等
				単位	日	8,435	9,029	8,892	9,751	9,938		
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(青少年課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域間交流を推進します。(上尾市と北海道幕別町の子ども会で実施している交流事業の継続を図ります。) <p>(高齢介護課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会参加や生きがいの観点から多世代交流や地域間交流の必要性は認識しているが、地域差が生じています。今後は地域等における交流状況の把握に努めるとともに、多世代交流や地域間交流の推進を図ります。 <p>(市民協働推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に住む外国人市民との協働を図るとともに、多文化共生を推し進めます。 <p>(指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生を海外に派遣することで、より一層の国際感覚・国際交流の推進を図ります。 	★進ちよく状況	B 概ね順調
法制度の変更など			

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.01	46	0.91	45	1.1	38

※かい離値は、期待度－満足度を表します。

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	22,249	24,534	19,238	20,183
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	40,879	25,653	39,147	33,746
合計(千円)	63,128	50,187	58,385	53,929

★進ちよく状況
A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ● 広報広聴課・総務課・IT推進課・市民協働推進課・議事調査課

施策番号(大-中-小)	714
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	市民参加と協働の推進
施策(小項目)	情報共有
基本方針	協働のまちづくりの前提となる市民・事業者と行政の情報共有について、本市からは様々な媒体を使って市の情報を積極的に発信するとともに、市民ニーズを多様な手段で的確に把握し、市民活動、協働によるまちづくり活動の相互に活かす情報共有体制の確立を目指していきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民へ行政情報を発信するための主要媒体である広報誌について、誌面改定を行い充実を図っているところです。また市ホームページを積極的に活用し、効果的な情報提供に努めています。新たな情報提供ツールとして運用しているツイッター・フェイスブックについては、十分な運用がなされていない状況です。今後はSNSの適正運用と報道機関への情報提供の充実が主な課題です。 ● 情報公開制度は、市民の知る権利を尊重し、行政の説明責任を定めた制度で、市政に対する市民の理解と信頼を深め、市政への参画を促進するために必要な制度です。情報公開コーナーの利用者件数については減少傾向ですが、情報公開請求(申出)については前年度より倍の件数になっています。情報公開請求の内容については、営利目的による利用が多くなっています。適正な情報公開制度の運営はもちろんのこと、市民が公開請求という手段を用いるまでもなく、行政の情報に触れられる積極的な情報提供を行っていくことが必要です。 ● 市長へのはがきは、市民への対応を迅速化するとともに、回答集を公開しました。また、市民意識調査やISO9001の市民満足度アンケートの実施などを通じて、市民ニーズの把握に努めています。平成17年から開始した上尾市市民コメント制度は、認知度が低いため余り活用されていないといった課題があります。市民の声を吸い上げるためのさらなる広聴機能の強化が必要です。 ● イベント開催宣伝・参加支援、市民活動支援システムの構築を検討しています。今後は、情報ネットワークシステムをさらに発展させ、市民と行政の情報共有体制をつくる必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★ 冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1 ★ 広報広聴課	市ホームページアクセス数	アクセス件数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	72%	トップページアクセス件数
				単位	件	598,344	622,490	544,211	513,343	505,837		
2 総務課	情報公開コーナー利用者数	単純集計値(単年)	-	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	63%	コーナー職員(業務委託)が集計・報告
				単位	人	5,547	8,004	8,622	7,918	6,324		
3 IT推進課	市メールマガジン全購読者数	全購読者数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	88%	
				単位	人	9,100	7,192	8,766	9,238	10,135		
4 広報広聴課	報道機関への情報提供数	提供件数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	62%	
				単位	件	161	215	211	221	136		
5 議会総務課 議事調査課	市議会ホームページアクセス件数	アクセス件数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	103%	
				単位	件	20,971	115,369	76,762	70,751	82,614		
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

今後の取組の方向性 (文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)	(広報広聴課) ・新誌面に対する意見を分析し、更なる内容の充実を図ります。 ・報道機関(新聞・テレビ)への効果的な情報提供、SNSなどを用いた迅速な情報提供により広報方法を充実させるとともに、知名度とイメージアップを図ります。 (総務課) ・ファイリングシステムの維持・管理の徹底を図ります。 ・コーナー利用の案内や周知活動を積極的に行います。 ・情報公開制度について、各課の対応力を高めるため、職員研修を実施していきます。 (IT推進課) ・新たにメールマガジンを活用する業務主管課への運用支援を行い、市メールマガジンの更なる充実を支援します。 ・平成25年3月に基幹業務システム(住民記録・税・財務会計など)をクラウド化し、運用を開始しました。その他の業務システムについても、契約更新に合わせてクラウド化を検討していきます。 ・ホームページ作成支援システム(GMS:コンテンツマネジメントシステム)について、広報広聴課とともに、平成28年3月のリニューアルに向けて取り組んでいきます。 (市民活動支援センター) ・市民活動推進計画の見直しを踏まえ、市民活動や協働のまちづくりの拠点として、市民活動を幅広くサポートします。 (議事調査課) ・平成26年6月定例会から一般質問の一問一答式を導入しました。また、平成27年3月定例会からは、議案・請願の議員個人の賛否を公開しています。今後も、市民にとって開かれた議会を目指し、検討を進めていきます。	★進ちよく状況	C やや遅れ
--	---	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.19	24	1.09	31	1.1	38

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る 当初予算の事業費(千円)	61,482	88,756	87,043	151,420
この施策に係る 当初予算の人員費(千円)	138,540	131,367	158,498	143,729
合計(千円)	200,022	220,123	245,541	295,149

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●秘書政策課・行政経営課・総務課・職員課・IT推進課・契約検査課・議会総務課・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局

施策番号(大-中-小)	721
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	新たな行財政運営
施策(小項目)	行政運営
基本方針	厳しさを増す行政運営において、自主性、自律性を高めつつ最適で効率的な市民サービスの提供に向けて、今後も変革を続けていきます。また、行政改革の流れを加速させ、事業の見直し・改善を図りつつ、さらには民間活力も適切に活用し、事業の効率化や広域行政の推進に努めながら、政策立案能力や施策遂行力を高めていきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

<p>施策の現況と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な行政システムの構築を目指し、第7次行政改革大綱・実施計画(H23～H27)を策定して行政改革に取り組んでいますが、平成28年度からの第8次行政改革大綱・実施計画を策定する必要があります。 ● 行政事務の合理化及び効率化を図るため、職員提案制度を活用して一層の事務の効率化を図っていく必要があります。また、提案制度そのものの見直しも行い、公平性を担保するとともに職員が提案しやすい環境づくりを進めていく必要があります。 ● 総合計画の効果的・効率的な推進を図るため各施策の進捗状況を確認するとともに、今後の施策展開の方向性を示すため施策評価を実施しています。 ● 事業者との協働を図るため、民間委託や指定管理者制度の導入を推進しています。今後も引き続き、民間委託や指定管理者制度の導入拡大、指定管理者の公募について、検討していく必要があります。 ● コスト削減を図るとともに機能的かつ効率的な市民サービス体制を構築するため、平成26年に25年ぶりとなる大規模な組織再編を実施しましたが、今後も柔軟で効率的な組織づくりに努めていく必要があります。 ● 人事評価制度の一部を本格実施し、職場討議や面談を通じて、職員の意識改革を促進しています。今後さらに、人事評価制度の改善や活用方法についての検討が必要です。併せて、大量退職に伴う行政サービスの低下を招かぬよう知識の伝承とリーダーシップやマネジメント能力を備えた職員の育成が必要です。また、病気やメンタル不調による長期休職者を出さないための対策や不調者が出た際は、職場復帰プログラムを活かした復職支援を進めていきます。 ● 文書管理の適正化を図り、情報公開請求に迅速に対応するため、行政文書のライフサイクルを一元的に管理する総合文書管理システムを導入し、文書管理と決裁過程の電子化を検討しています。 ● 意思決定の迅速化や業務の効率性の向上、複雑多様化する行政需要に対応するため、所属を越えて情報共有するグループウェアを導入しています。引き続きICT技術の利活用が必要です。 ● 不正アクセス等による情報資産の破壊、窃取、改ざんや個人情報の漏えい、ウイルス感染などの脅威が増加しており、情報を適正に管理していくために、上尾市情報セキュリティポリシーを遵守していく必要があります。(施策5)へ ● 地方分権が進展する中で、これに対応した体制づくりを図るため、今後も国の動向を注視していくとともに、近隣市町との広域行政についても研究していく必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1★	行政経営課	行政改革の目標値の達成率	第7次行政改革実施計画目標達成項目数/全42項目×100(累計)	42項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	19%	※第7次行政改革H23～5年間の達成項目のため多くが最終年度に達成達成項目が算定される。H23に1項目、H24に2項目、H25に4項目達成した。	
					単位	%	—	2	7	10	15	80		
2★	危機管理防災課・市民協働推進課	都市間連携の実績数(延べ)			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	110%	H23:本宮市と防災協定締結、H25:練馬区及び幕別町と防災協定締結。	
					単位	市町村	8	9	9	11	11	10		
3	総務課	文書管理適正化業務の実施率	適正化への業務の実施率(右記5項目を評価。1項目につき完遂であれば20%)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	40%	実施項目①ファイルシステム維持管理②文書倉庫管理③PDF有効活用④電子文書化状況調査及び分析⑤文書管理システム導入事業	
					単位	%	40	50	40	50	40	100		
4	行政経営課	改善提案件数	改善提案件数(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	42%		
					単位	件	2	3	4	5	21	50		
5	IT推進課	ウイルス感染件数	ウイルス感染件数(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	48%	平成23年度より市教育委員会セキュリティポリシー施行※下がるほうがよい指標	
					単位	件	66	26	13	40	21	10		
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(秘書政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特命事項及びその他重要政策の推進を図ります。(行政経営課) ・持続可能な行政経営のため、第8次行政改革推進計画を策定し、引き続き行政改革への取組みを推進します。 ・職員に改善提案制度の啓発を行い、創意工夫を活かした改善提案を促進します。(総務課) ・ファイルシステムシステムの維持・管理の徹底を図ります。 ・文書管理システム導入に向けた調査・課題の洗い出しを行います。(職員課) ・次世代を担う管理職の育成及び長期休養者を出さない対策や職場復帰プログラムの運用管理を行います。(IT推進課) ・情報セキュリティ研修の実施などにより、人的対策の強化を図ります。 ・業務継続計画に基づき、災害を想定した訓練を行います。(選挙管理委員会事務局) ・選挙が公明かつ適正に行われるよう地域や市事業での啓発活動を行うとともに、明るい選挙推進員の資質向上を図ります。(監査委員事務局) ・行財政運営をチェックする機能の中核として、各監査等(例月現金出納検査、定期監査、決算審査、財政援助団体等監査)を実施します。 ・職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講じます。 	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
---	--	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.14	34	0.97	43	1.17	44

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	715,339	774,754	785,509	986,161
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	548,529	567,647	541,420	601,212
合計(千円)	1,263,868	1,342,401	1,326,929	1,587,373

<p>★進ちよく状況</p> <p>A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)</p> <p>B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)</p> <p>C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)</p>

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 行政経営課・財政課・市民税課・資産税課・納税課・施設課・総務課・職員課・保育課・高齢介護課・保険年金課・経営総務課・下水道施設課

施策番号(大-中-小)	722
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	新たな行政運営
施策(小項目)	財政運営
基本方針	健全財政の維持が行政経営の基本であり、限られた財源を重点的・効率的に配分しながら投資効率の最大化を目指します。また、税の収納率の向上や自主財源確保を含むあらゆる手段での歳入確保と、事業の見直しやコスト管理、定員管理、公債費や特別会計への繰出金の適正管理などにより、収支の均衡を図ります。さらには、財政運営状況を市民に開示・公表していきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方分権改革に伴う経費負担増や少子高齢化に起因する義務的経費の増大など、厳しい財政状況が見込まれます。今後も財政規律ガイドラインに基づき一層予算配分の重点化・効率化を図り、広く市民に財政運営状況を積極的に開示していく必要があります。平成24年度版3か年実施計画以降は、予算書と総合計画の関連性を示し市民に分かりやすい形式に改善しました。 ● 近年では、印刷物や市ホームページの広告収入など新たな自主財源の確保に努めてきました。今後も新たな手法による自主財源を確保するとともに、受益者負担の公平性の観点からも使用料・手数料の見直しを進めていくことも必要です。平成22年度からは自動販売機を貸付契約方式に移行するなどにより歳入増加を図っています。 ● 市税・保険税の公平・適正な賦課・徴収を図るため、税の収納対策として平成21年7月から収納サポートセンターを設置し、積極的に電話による呼び掛けを行うほか、課税資料の整備として平成23年度からデジタル地番図に移行しました。また納税者の支払い方法を拡充するため、コンビニ収納事業を平成21年4月から開始しました。今後は、新たな手法による税・保険税の確保が課題です。 ● これまで市有財産の売却も含めた有効活用や、公用車のリース化及び管理強化等による財政支出の平準化を図ってきましたが、さらなる収支改善努力が必要です。 ● 定員適正化計画に基づく取組みの結果、平成16年度から平成23年度までに職員数は約11%減となり、ほぼ適正な職員数となっています。今後は民間事業者等との協働により、事業の委託化等を図ることで、さらなる適正な人員配置を推進していくことが必要です。 ● 公債費の償還や特別会計への繰出金が市の財政を圧迫しています。市債の発行に当たっては公債費の負担や市債残高に留意し、適正管理に努めることが重要です。国民健康保険事業や下水道事業など特別会計への繰出金についても、極力抑制するよう改革を進める必要があります。 ● 現在、下水道事業は特別会計で執行されていますが、より適正な経営管理を図るため、公営企業法の適用を受ける公営企業の調査、研究を進める必要があります。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	財政課	市債残高			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	103%	一般・下水・水道会計
					単位	億円	879	854	854	851	837		
2	行政経営課	自動販売機の貸付契約割合	貸付契約台数/全体の台数		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	98%	行政財産の使用許可からの移行
					単位	%	11.3	34.9	55	73.9	83.6		
3	行政経営課	職員数	減少することが望ましい指標		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	101%	各年4月1日時点
					単位	人	1,442	1,427	1,428	1,430	1,417		
4	保育課	保育料口座振替率			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	97%	納入義務者全員の口座振替を目指す
					単位	率	94.3	95.8	95.5	95.1	95		
5	高齢介護課	介護保険料コンビニ収納利用件数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	108%	
					単位	件	—	11,244	16,503	16,362	17,329		
6	納税課	市税納税率			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	101%	
					単位	%	91.5	92.5	93.4	94.8	95.8		
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(行政経営課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保に向けた取り組みを進めます。 ・行政評価を活用して総合計画と予算及び人員配置との連携を図り、効率的・効果的な行政経営を行います。(資産税課) ・デジタル地番図と公図及び課税データとの整合性を向上させるため、引き続き、データの整備を進めます。(納税課) ・市税納税率の更なる向上として、引き続き、口座振替等の利用促進と滞納処分の迅速化を図って行きます。(施設課) ・売却可能な市有財産については、引き続きインターネットオークション等も活用して自主財源の確保に努めていきます。(保育課) ・保育料の口座振替率の拡大を図ります。(高齢介護課) ・高齢者の増加に伴い被保険者数は増加するものの、コンビニ収納件数はほぼ頭打ちと見込んでいます。コンビニ収納のみならず、口座振替の推進も含め普通徴収の収納率向上に努めます。 ・介護保険特別会計への繰出金は法令等に基づく繰出金であり、今後も法令等に基づき適正に運用していきます。(保険年金課) ・国民健康保険税の賦課限度額の見直しを検討します。(経営総務課) ・下水道事業の公営企業法適用に向けた、資産台帳の整備や公営企業会計システムの構築を行います。 	★進ちよく状況	B 概ね順調
---	---	---------	--------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.2	22	0.82	47	1.38	48

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

★進ちよく状況
A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	7,138,163	7,121,088	7,206,412	7,116,316
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	875,786	867,757	790,608	677,790
合計(千円)	8,013,949	7,988,845	7,997,020	7,794,106

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●財政課・施設課・総務課・保育課・福祉総務課・市民協働推進課・環境政策課・建築安全課・議事調査課・教育総務課

施策番号(大-中-小)	723
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	新たな行財政運営
施策(小項目)	公共施設
基本方針	老朽化が進行している公共施設の維持管理について、総合的なマネジメントシステムを構築し、修繕や更新、耐震化等の対応を計画的・効率的に行っていきます。その中では、市民の理解を得ながら施設の統廃合や配置の適正化、必要な公共施設整備なども検討していきます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

<p>施策の現況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市の公共施設は、昭和40年代の急激な人口増・都市規模拡大の中で集中的に整備されたものが多く、老朽化も進んでいますが、これまで十分に改修などが進んでいません。今後はさらに施設の老朽化が進み、一斉に更新時期を迎えるため総合的かつ計画的な施設の改修や建て替え等が必要です。また、そのための財源として、公共施設整備基金を計画的に管理する必要があります。 ● 施設の基本情報をデータベース化し、市有財産の有効活用や改修や建て替えなどを総合的、効率的かつ計画的に行える管理システムを構築することや、既存の公共施設の長寿命化への工夫も必要です。 ● 本市の公共施設は、多くの市民に利用されており、震災時には避難拠点としての機能も求められております。これら施設の耐震化は、市民や職員、さらには行政機能自体の安心・安全を目的としているため、平成19年度策定の「上尾市建築物耐震改修促進計画」に基づき、優先的に取り組んでいます。今後は、平成26年度に作成した「上尾市公共施設等総合管理計画」等に則した老朽化等の改修に取り組む必要があります。 ● 財政的な制約の中、補助金・交付金などを有効に活用しながら、市内の小・中学校を優先して耐震化工事に取り組んでおり、学校施設はH27年度に上尾中学校の改築事業を完了すると耐震化工事は完了します。 ● 既存の公共施設については、厳しい財政状況や今後深刻化する人口減少、さらには社会動向の変化に対応した施設の必要性などを長期的な視野をもって検証しながら、有効活用や統廃合を含めた最適な配置を実現する必要があります。 ● 市民ニーズや時代の要請により新たに公共施設の整備が必要となる場合も、財政状況や利用需要を十分考慮するとともに総量の最適化も見据えながら検討する必要があります。 	
<p>法制度の変更など</p>	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26			
★ 建築安全課 施設課	市有建築物の耐震化率	耐震化率(学校以外)耐震性能がある施設/対象数(単年)	63 (H25.4.1)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	65%	市で所有管理する200㎡以上の建築物を対象。上尾市市有建築物耐震化年次計画に基づき計画的に実施されるよう担当課と調整
				単位	%	58.9	60.3	61.9	61.9	65.1		
施設課	公共施設再配置計画の構築	資産台帳整備まで…50% 基本計画策定まで…100%		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	80%	第7次行革実施計画項目 H25公共施設白書作成+10% H26公共施設等総合管理計画策定+20%
				単位	%	0.0	0.0	50.0	60.0	80.0		
教育総務課	小中学校の耐震化棟数	小学校71棟+中学校48棟(累計)	119棟 (H27.4.1)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	H27 上尾中改築事業完了後に119棟となる。耐震補強工事と同時にトイレの改修工事を行った。
				単位	棟	81	93	106	116	119		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(施設課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は「上尾市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設マネジメントの開始年度となります。この円滑な運営を図るため、個別施設管理基本計画・実施計画の策定を進めていきます。 (市民協働推進課・保育課) ・(仮)原市複合施設は、平成26年度に用地の鑑定評価を行い用地買収や土地賃貸借契約を締結すると共に、実施設計に基づく周辺住民への説明会を開催し建設に対する理解をいただきます。その後、平成27年から建設工事を行い、平成28年度の開設を目指します。保育機能は、近隣にある2か所の保育所の老朽化が著しく、児童の安全と効率性を考慮し統合による建て替えを行います。また支所機能は、市民との協働を進めるための拠点となる施設であり、老朽化した施設の改善は急務です。これらの施設を複合的に建設することで、効率的で効果的な行財政運営を図っていきます。 (建築安全課) ・財政的な制約の中、補助金・交付金等を有効に活用しながら、担当部署との調整をしつつ公共施設の耐震化を進めます。なお、平成27年度の上尾市建築物耐震改修促進計画の見直しにあたっては、公共施設マネジメント計画と調整をしながら、効率的な耐震化の促進のための計画を策定します。 (教育総務課) ・「上尾市立小・中学校耐震化推進計画」に基づき計画を進めます。 ・耐震補強工事に係るものは平成25年度までに完了し、改築工事に係るものは平成27年度の完了を図ります。今後は、「上尾市公共施設等総合管理計画」等に則し、計画的に事業展開を図ります。* 	<p>★進ちよく状況</p>	<p>A 順調</p>
--	---	----------------	-------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.27	14	1.22	24	1.05	29

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	868,532	587,424	563,516	1,036,744
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	177,527	179,989	122,452	94,140
合計(千円)	1,046,059	767,413	685,968	1,130,884

<p>★進ちよく状況</p> <p>A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)</p> <p>B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)</p> <p>C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)</p>

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●行政経営課・市民税課・資産税課・施設課・IT推進課・契約検査課・市民課・市民協働推進課

施策番号(大-中-小)	724
まちづくりの基本方向(大項目)	市民との協働と新たな行政運営
政策(中項目)	新たな行財政運営
施策(小項目)	市民サービス
基本方針	窓口などを介した市民サービスは、市民と行政の信頼の接点であり、常に市民の立場に立ち、個人情報の適正な取り扱いを前提に、各種システムの構築等により必要なサービスを提供し、相談窓口体制の充実も含め、市民満足度の向上を目指します。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●平成15年から住基カードの制度が始まり、電子申告の利用とともに少しずつ交付件数が伸びていますが、その他の電子申請については、申請から交付に至るまでの手続きが煩雑なため、普及には至っていません。 ●市民サービスの向上や行政事務の効率化を図るうえで情報技術は必要不可欠なものとなっており、電子自治体としての進展が期待されています。電子申請のほか、電子入札、公共施設予約システム、地図情報の充実など、市民・事業者にとって便利で使い勝手の良いサービスを提供する必要があり、情報格差の解消にも、取り組む必要があります。 ●ISO9001の理念に基づき、特に市民が利用する機会が多い市民生活部、子ども未来部及び健康福祉部においてサービスの質の確保や業務改善に取り組んでおり、その他の部署でも、ISO9001のノウハウを活用し全庁的に業務改善に努めています。 ●市民生活部、子ども未来部及び健康福祉部、出納室の窓口については、土曜日にも開庁するなど、ライフスタイルの多様化に合わせた市民サービスを展開しています。今後もニーズを的確に把握しながら、より一層効果的・効率的なサービスの向上が求められています。 ●社会の複雑化、多様化とともに、地域の人間関係が希薄になってきています。独居世帯も増加する中で、市民が気軽に相談できる窓口の充実が求められています。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
★行政経営課	市民満足度の割合(回答者の平均)	本庁舎1F・2Fの市民満足度の平均		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	102%	現況水準を維持する	
				単位	%	94.6	95.2	95.4	95.7	95.7			94.0
★契約検査課	電子入札率(建設工事)			年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	100%	平成23年11月より電子入札を実施	
				単位	%	—	36	100	100	100			100
市民協働推進課	特別相談・一般相談の相談件数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	91%		
				単位	件	3,824	3,551	3,376	3,530	3,302			3,640
IT推進課	施設予約システム抽選予約申込件数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	99%	平成23年3月より現行システムスタート	
				単位	件	128,400	115,900	70,520	105,918	104,407			105,000
市民税課	電子申告(eLTAXの普及)	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	110%	全体数約33,900事業所 法人市民税(約4,400事業所) 個人住民税(約29,500事業所)	
				単位	申告件数	4,025	5,459	6,824	9,015	10,869			9,870
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
				単位									

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(行政経営課) ・市民サービスの質の確保や業務改善に活用するため、年1回以上の市民満足度アンケートを行い、市民満足度94%以上を維持します。</p> <p>(資産税課) ・公園を、従来の青焼きから白焼きに変えて平成25年度中に印刷し、お客様に提供している。これにより、従来より鮮明な公園の写しを提供できるようになったため、今後も継続していきます。</p> <p>(IT推進課) ・災害に強いシステムの構築を促進します。(業務システムの契約更新に合わせて、クラウド化の積極的な導入を検討していきます。)</p> <p>・新たな電子申請を活用する業務主管課への運用支援を行います。</p> <p>(契約検査課) ・平成28年度も、工事、設計測量調査、土木維持管理、物品、業務委託について継続して電子入札を行います。</p> <p>(市民課) ・市民サービスの向上を目指し、正確かつ迅速な事務処理に努めます。</p> <p>(市民協働推進課) ・社会の変化に伴い、相談業務も多様化しており、これらのニーズに応えるための検討を行っていく必要があります。</p>	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
--	---	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.23	17	1.08	33	1.15	43

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	330,460	297,600	430,087	411,519
この施策に係る当初予算の人員費(千円)	703,658	697,361	581,809	706,190
合計(千円)	1,034,118	994,961	1,011,896	1,117,709